

キッズふれあい駅伝 11月23日(祝日)に開催



第1号
事務局
南丹教育局内
TEL 62-0304
FAX 62-1187

亀岡市運動公園競技場を会場に

今年で第三回を数える南丹地区小学校駅伝競走大会の実施に向けて、大会委員会は六月二十五日(月)に京都府亀岡総合庁舎で開催し、今年の大会を十一月二十三日(祝日)(予備日十一月二十四日(土))に、亀岡市運動公園競技場を会場として開催することを決定しました。

大会委員
会では、大
会役員を承
認の後、今
年度の事業
計画を審議
しました。
昨年と同
様に、①七
月から九月
にかけてポ
スターコン
クールを実
施すること、
②十月十三
日に園部運
動公園陸上
競技場を会
場として陸
上教室を開

催すること、③十一月三日に、南丹高校グラウンドを会場として第二回の陸上教室を実施することを決めました。
また、駅伝競走大会の開催要項の概要を決定し、詳細については七月に開催する競技力部会で検討することが確認されました。

「地域のすばらしい人材を 育てていきたい」

中村俊孝大会会長

多方面の団体の協力によりこの大会が成り立っている。私たちにこの地域のすばらしい人材を育てていくという目標がある。この地域を愛し、守り、そして発展していくよう地域振興を図っていき

たい。
陸上教室では小中高生がトッ



プアスリートと直接ふれあえるよい機会である。ポスターコンクールで入賞した生徒からは、「ポスターという形でこの大会に参加できてうれしかった」という声も聞いている。
今年もすばらしい大会にしたい。

「この駅伝は、地域振興の 有効なツールである」

藤城進南丹広域振興局長

この4月より着任したが、部屋には、キッズ駅伝のポスターが貼っ

てあった。

この駅伝競走は、南丹地域振興計画の一つの重点事業である。児童が地域の期待を受け、地域を代表して走るこの大会は、地域振興の有効なツールであると感じている。今後の益々の発展を祈る。

「未来を担う 子どもたちのために」

滝本健二亀岡市教育委員会 教育長

未来を担う子どもたちのためにご尽力頂いていることに感謝する。この駅伝競走大会は、学校教育、社会教育、PTA、陸上競技連盟、青年会議所など総力を挙げて、子どもたちを育てている事業だ。第三回大会から会場を亀岡に移して実施されるので教育委員会あげて協力していきたいと考えている。
子どもの体力低下が指摘される中、才能ある子どもを見いだすと同時に、スポーツに取り組む子どもこそ野を広くしていくことも大切である。また、安全管理には、十分に気をつけて実施していく必要がある。

「スムーズな協力体制を」

吉岡一寿南丹教育局長

キッズふれあい駅伝は、基礎体力作りを進める一方、チャレンジオンシップを競っている。過去二回の中で優秀な選手も育ってきており、中・高校生へ引き継がれ、近い将来全国高校駅伝で管内の高校が

活躍できることを願っている。

PTA、JC、陸協や青少年育成団体の絶大な協力と広域振興局のご支援、地域・保護者の期待で大会も盛り上がりを見せている。会場を亀岡に移すが、スムーズな協力体制を築いていきたい。



大会役員が決まりました。

- ▼大会名誉会長 藤城進(南丹広域振興局長)
- ▼顧問 吉岡一寿(南丹教育局長)
- ▼滝本健二(亀岡市教育委員会教育長)
- ▼牧野修(南丹市教育委員会教育長)
- ▼山本和之(京丹波町教育委員会教育長)
- ▼大会会長 中村俊孝(南丹地区幼小中高連会長)
- ▼副会長 木村義二(口丹波中学校体育連盟会長)
- ▼大会委員長 関吉廣(亀岡市小学校体育連盟会長)



- ▼大会副委員長 法貴雅男(南丹小学校体育連盟会長)
- ▼大会委員 中西文章(南丹広域振興局企画振興室長)
- ▼川勝哲也(亀岡市教育委員会指導主事)
- ▼清水浩次(南丹市教育委員会社会教育主事)
- ▼湯浅俊治(京丹波町教育委員会社会教育主事)
- ▼中川巻信(亀岡市小学校体育連盟理事)
- ▼西田淳久(南丹船井小学校体育連盟庶務)
- ▼廣瀬渚(南丹船井中学校体育連盟理事)
- ▼比護信子(口丹波高等学校体育連盟)
- ▼美馬勝博(亀岡市陸上競技協合理事)
- ▼関隆宏(船井郡陸上競技協合理事)
- ▼國府常芳(亀岡市PTA連絡協議会事務局)
- ▼藤田道子(南丹・船井PTA連絡協議会事務局)
- ▼藤田幸雄(亀岡青年会議所副理事長)
- ▼藤原和正(船井青年会議所地域創造委員会委員長)
- ▼小笹正人(南丹教育局企画教育課長)
- ▼事務局 竹岡敏(南丹地区幼小中高連事務局)